

①一本松古墳
名古屋工業大学内にあります。現在は直径36m、高さ8mの円墳状ですが、本来は全長70~80mの前方後円墳であったと言われています。円筒埴輪が多数出土し、同大学付属図書館と市博物館に保管されています。

②八幡山古墳
直径82m、高さ10mの円墳で、東海地方最大クラスの円墳です。まわりには幅10m前後の周濠がめぐらされています。1931年に国の史跡に指定されています。また、隠れた桜の名所となっています。

③神現聖堂
最も古いキリスト教「正教会」の聖堂です。2010年にこの地に移転新築されました。正面3連、側面4連のヴォールト屋根にタマネギ型のクーポルを載せた中世ロシアの聖堂建築様式を取り入れています。

④桜花学園高等学校
1903年に「桜花義会看護婦学校」として設立され、以来100年余にわたる女子教育が伝統の学校です。1923年から「桜花学園高等学校」として現在地にあり、道沿いに昭和区の木ハナミズキが植えられています。

⑤戦役記念碑
日露戦争に御器所村から出征し、戦死された14名の方の霊を慰め、後世に伝えるため、1909年に建立された記念碑です。表面には「明治三十七・八年戦役記念碑」、裏面には戦没者の氏名が列記されています。

⑥正覚寺
昭和の時代になって、尾張の北部から移転してきた、真宗大谷派のお寺です。小さなお寺なので見つけるのが難しいですが、近所の方の会合の場所となっており、親しみのあるお寺となっています。

⑦馬頭観音
1909年、馬車による運送業を営む服部文五郎氏が同業者と共同で馬の健康と輸送の安全を祈願して安置しました。当時の面影を残すものは少なくなっていますが、約100年この街道を見守り続けています。

⑧川原神社
905年の延喜式神名帳に記載のある神社です。祭神は日神(ひのかみ)、埴山姫命(はにやまひめのみこと)、罔象女命(みつはのめのみこと)です。境内の池は弁財天が祀られていますが、神仏分離で太平寺に遷されています。

⑩旧伊藤耳鼻咽喉科医院
1932年に建築された建物です。玄関ポーチは洋風ペディメントで飾られ、外壁には表面に溝が刻まれたスクラッチタイルが使用されています。市の登録地域建造物資産となっています。(建物の中には入れません。)

鶴舞公園内のコース詳細は裏面にあります。

道路沿いにあるツルバラが5月になると大輪の花を咲かせます。

マンションの片隅にひっそりとたたずんでいます。

星崎付近の塩田でとれた塩が、信州方面に馬で運ばれていたことが名前の由来です。その様子をイメージした平板が歩道に設置されています。

名古屋と信州飯田を結んでいる街道で、馬が主要交通手段であった時代には大変賑わったと言われています。

防災公園として整備中の公園です。

⑨マンドリンの音の博物館
日本最初のマンドリン製作家、鈴木政吉氏の初期の作品やイタリアの名器等、普段あまりお目にかかれないような珍しい楽器の数々を目にすることができます。マンドリンの世界を堪能できます。(有料)

⑪尾陽神社
尾張藩祖徳川義直と14代慶勝を祀る神社で、名古屋開府300年を記念して創建されました。東照宮に合祀されていましたが、1922年、この地にご遷座されました。1945年に空襲で焼失し、1970年に再建されました。

車に注意して横断

車に注意して横断

横断歩道を渡る

横断歩道を渡る

宮参り道の三体の石仏

古観音庵寺址

⑫久松寺
1616年、徳川二代将軍・秀忠の頃に創建された曹洞宗のお寺です。荒子村の奥村庄左衛門が、観音さまの霊夢を感じ、先祖と妻(前田利家の叔母)慰霊の為に開基したと伝わります。本堂は江戸末期の建立です。

⑬宗円寺
龍興寺の末寺で、5階建てのマンションの1階が本堂です。寺の南西角にある小堂には、御器所初代領主佐久間朝盛の墓碑とされる宝篋印塔(ほうきょういんとう)が保管されており、市有形文化財に指定されています。

⑭龍興寺
曹洞宗のお寺で、1539年に御器所西城主佐久間盛次が、一族の菩提寺として建立しましたが、1945年に空襲で焼失しました。その後、実業家藤山雷太氏の旧邸(東京芝白金の迎賓館)を移築して本堂としました。

⑮御所屋敷跡
秀吉の母、大政所の出生については明らかではありませんが、江戸時代の古文書に、「ここにあった屋敷に豊臣秀吉の母が住んでおり、秀吉を生んだことから御所屋敷と呼ばれるようになった」とあります。

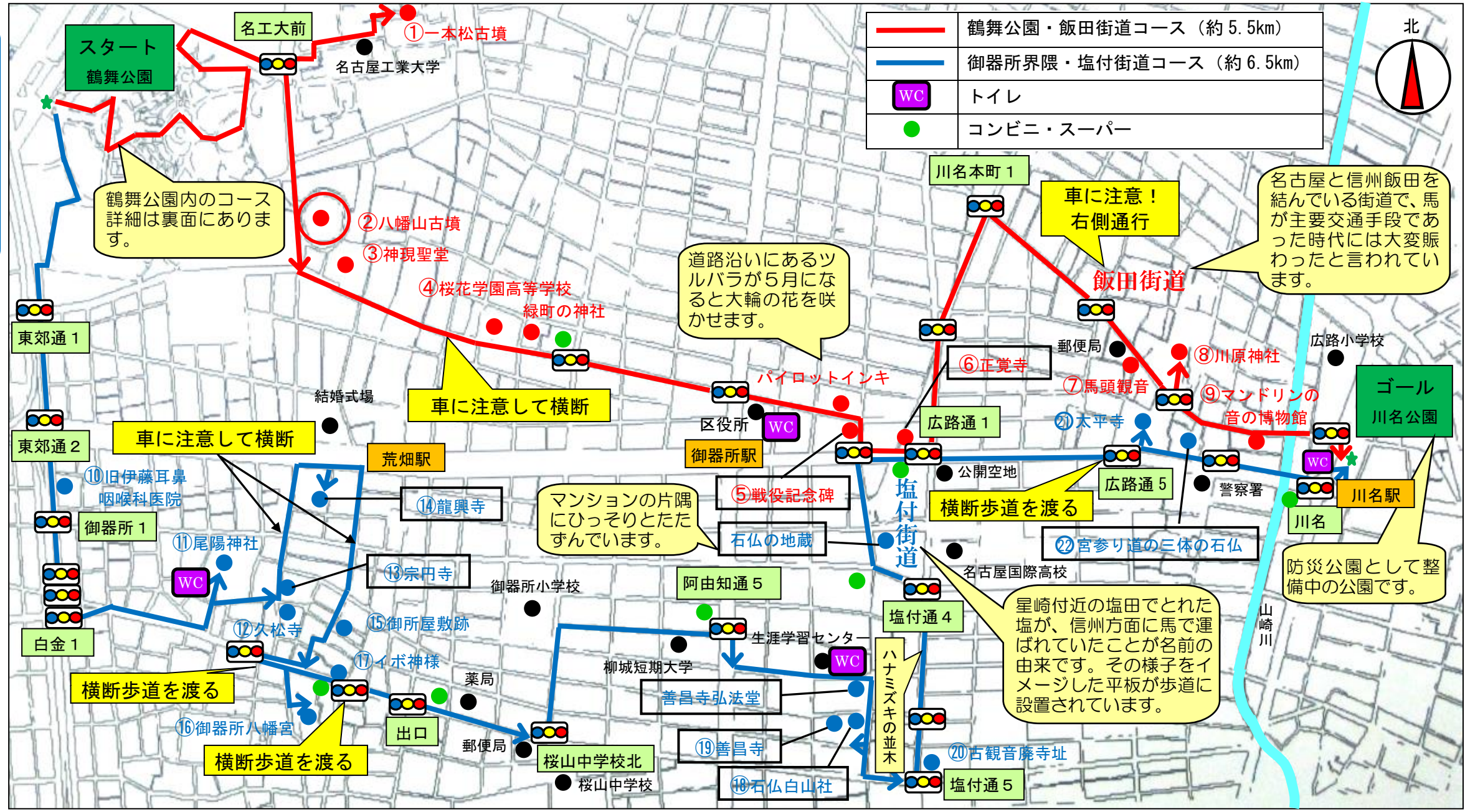
⑯善昌寺
徳川家康が、小牧・長久手の合戦前に立ち寄り、その後祈願成就を感謝し、家康の指示で社殿を造営したと伝えられています。境内には必勝鉦鈴という鉦をかたどった鐘があり、多くの受験生が参拝に来ます。

⑰イボ神様
一本の大木に守られるようにして小さな社がありますが、お参りするとよくイボが取れるという伝説があり、イボ神様として親しまれています。社前には役行者(えんのぎょうじゃ)が腰かけたような石像があります。

⑱善昌寺
曹洞宗のお寺で、慈雲山と号し、ご本尊は釈迦如来です。境内には石仏観音が安置されている慈雲の庵があります。また、区内最初の小学校・松栄学校(現広路小学校の前身)がここに置かれました。

⑲善昌寺
曹洞宗のお寺で、慈雲山と号し、ご本尊は釈迦如来です。境内には石仏観音が安置されている慈雲の庵があります。また、区内最初の小学校・松栄学校(現広路小学校の前身)がここに置かれました。

⑳古観音庵寺址
現在は何もありませんが、この付近の旧地名は古観音といわれ、奈良時代の鬼瓦が発見されたことから、古代寺院跡であったと考えられています。鬼瓦は市指定文化財として石仏白山社に保管されています。



⑳太平寺
曹洞宗のお寺で、1533年開山没の記録があります。1584年に小牧・長久手の戦いで焼失し、1897年に再建された後再び焼失し、1931年に再建されました。佐久間権平が創建したとも伝えられています。

㉑宮参り道の三体の石仏
昔、この道の向い側の「川名南城跡」(現警察署付近)に北向きに立っており、この近くに熱田神宮への「宮参り道」が通っていました。奥の地蔵に「左あつた道」と刻まれ、道標でありました。昭和の初めにここに移されました。

㉒石仏白山社
祭神は石仏村の氏神・菊理姫命(くくりひめのみこと)です。社殿は前方後円墳の後円部に造営されています。境内には若者の力競べに使われた力石が残されています。この辺りは、昔の塩付街道の面影が残っています。

㉓古観音庵寺址
現在は何もありませんが、この付近の旧地名は古観音といわれ、奈良時代の鬼瓦が発見されたことから、古代寺院跡であったと考えられています。鬼瓦は市指定文化財として石仏白山社に保管されています。

㉔善昌寺
曹洞宗のお寺で、慈雲山と号し、ご本尊は釈迦如来です。境内には石仏観音が安置されている慈雲の庵があります。また、区内最初の小学校・松栄学校(現広路小学校の前身)がここに置かれました。

㉕善昌寺
曹洞宗のお寺で、慈雲山と号し、ご本尊は釈迦如来です。境内には石仏観音が安置されている慈雲の庵があります。また、区内最初の小学校・松栄学校(現広路小学校の前身)がここに置かれました。

㉖古観音庵寺址
現在は何もありませんが、この付近の旧地名は古観音といわれ、奈良時代の鬼瓦が発見されたことから、古代寺院跡であったと考えられています。鬼瓦は市指定文化財として石仏白山社に保管されています。

㉗善昌寺
曹洞宗のお寺で、慈雲山と号し、ご本尊は釈迦如来です。境内には石仏観音が安置されている慈雲の庵があります。また、区内最初の小学校・松栄学校(現広路小学校の前身)がここに置かれました。